

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 姉妹都市小中学校交流事業
-------------------	---------------------------

区分	番号	名 称
章	6	担いあうまちづくり
節	2	交流によるまちづくりの推進
施策	1	国内における交流の場と機会の拡大
小分類	1	国内の様々な地域との交流の推進
主要な施策	2	姉妹都市交流の推進
事務事業番号	004	事務事業コード 62112004 事業開始年度 平成 4 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名
------	------	------------

部 名	教育部	グループ名	学校教育G
-----	-----	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 児童生徒
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 歴史的にゆかりのある相互の町を理解し、友好を深めるとともに学校間の交流を推進する。 白石市への小中学生の訪問事業の実施 (隔年ごとに訪問と受入れを行っている。平成19年度より職員の随行を廃止。) 姉妹都市の伝統文化を体験し、姉妹都市への理解を深める。 こけしの絵付け体験 ～ 小学校1校がこけしに絵付けを行い、白石市で開催される全日本こけしコンクールに出品。
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 姉妹都市交流の推進
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	訪問・受入れ事業参加児童生徒数	人	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12				
	こけし絵付け体験参加児童数	人	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	51				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円						0
合 計				0	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	99	104			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		99	104			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 姉妹都市について学習する機会は限られており、市が事業を実施することは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 普段あまり意識したことが無い姉妹都市について、体験を通じ学習する機会となっている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 資料等を通じ、姉妹都市に関する情報を周知する。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 本事業には、予算は措置されていない。人工、所要時間も必要最低限となっている。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	児童生徒が姉妹都市への理解を深め、交流を深めるために必要な事業である。
----	----------------------	-------------------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）